

大谷 藤郎先生 略歴

大谷 藤郎 (おおたに ふじお)

生年月日 大正 13 年 (1924 年) 3 月 27 日 (享年 86 歳)

出身地 滋賀県

○略歴

京都大学医学部卒。医学博士。国際医療福祉大学 初代学長。

厚生省 (現 厚生労働省) 公衆衛生局長、医務局長を歴任。

在任中、保健・医療・福祉の諸政策、専門職の地位向上に尽力し、ハンセン病・精神障害の人権運動の指導者として、日本だけではなく世界にも知られる。

1988 年～2003 年、財団法人 藤楓会 (総裁：高松宮妃殿下) 理事長を務める。

1993 年、公衆衛生のノーベル賞といわれる WHO(世界保健機関)レオン・ベルナル賞を受賞 (日本人としては 2 人目)。

2006 年 12 月には、ハンセン病患者支援活動の取り組みが評価され、東京弁護士会が人権擁護活動に尽力した個人や団体に贈る「第 21 回東京弁護士会人権賞」を受賞。

○国際医療福祉大学 就任年月

平成 7 年 (1995 年) 4 月 国際医療福祉大学 学長就任

平成 13 年 (2001 年) 10 月 国際医療福祉大学 総長就任

平成 20 年 (2008 年) 4 月 国際医療福祉大学 名誉顧問就任

○主な著書

「ひかりの足跡 ―ハンセン病・精神障害とわが師・わが友」

(メヂカルフレンド社)

「医の倫理と人権 ―共に生きる社会へ―」 (医療文化社)

「人間を考える ―大谷藤郎講義録―」 (国際医療福祉大学出版)

「らい予防法廃止の歴史」 (勁草書房)

「医療行政を見つめてきて」 『理想の病院を求めて』 医療文化社

以上